安心して暮らせるまち米子を目指して

「米子市福祉推進計画」（仮題）

位置づけ
「福祉のインフラ」づくり

一　安心して子どもが育つことができる
一　安心して子育てができる
一　安心して働くことができる
一　障がいがあっても安心して暮らすことができる
一　安心して老いることができる

米子市福祉推進計画を実施することにより、だれもが生涯を通じて、
自分らしく安心して暮らすことのできる米子市を目指す。
対処的な方策も大事ですが、原因を改善する方策も大事だと考えます。

ライフステージ別
●結婚後、不安なく出産・子育てを考えることができる。
　・婚活の推進も必要ですよね。
　・安心して出産が考えられる環境は大だと思います。
　・ファミリーサポート、子育ての援助など。
●生まれた子どもは、健やかな環境の中で育つことができる。
　・豊かな環境体験。
・地域の人々触れ合う体験。
・子育て費用のサポート。
・子どもたちは地域の宝。
●親は仕事と子育てを無理なく両立できる。
　・母親にストレスが溜まると、子どもが影響を受ける。親が働きながら安心して子育てができる環境づくりを。
●子どもは保育園・幼稚園・学校で充実した生活を送ることができる。
　・心が育つ環境づくり、落ちこぼれないサポート、グレーゾーンの子どものケア、
　・待機幼児なし。など。
　＊早期からのケアが大切（特にグレーゾーンのお子さま）
●卒業後は充実した社会生活を送ることができる。
　・就労のサポート。

・障がいのある人、高齢者も望めば働くことのできる環境づくり。
●貧困等に陥った場合は、改善するためのサポートを受けることができる。
・緊急的な支援や、改善のための支援。
●障がいにより生活に支障が出た場合は、サポートを受けることができる。
・心身両面のサポート。
●老齢により生活に支障が出た場合は、サポートを受けることができる。
・心身両面のサポート。

対処的な施策（セーフティーネット）は必要ですが、
そこに至らないための予防的な施策はとても重要だと思います。
この計画を骨子として、行政で行われていることが、どのように結びつているかなども俯瞰できるようにする必要もあると思います。
また、市民がわかりやすい、共感しやすい言葉・表現をお願いいたします。
「我が事・丸ごと」という言葉は、住民サイドが自ずと感じるのは良いと思いますが、上から言われると上から目線を感じてしまいます。
特別なことではなく、今の時代に必要な福祉が、当たり前に受けられることを願います。

進め方について

委員の多くは、策定に関しては専門家ではないので、委員の役割としては、提案を検討するという形がよいと思います。